



脳は変えられる。

BrainSuite

ブレインスイート

✓ 30代からの 認知症予防検査

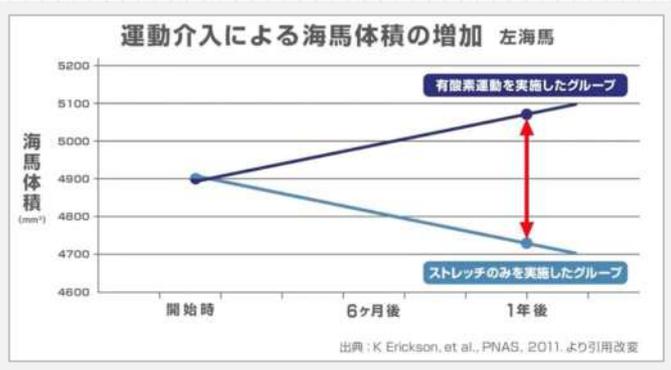
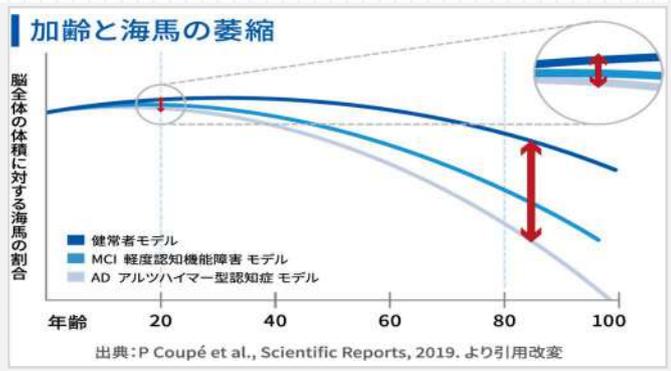
瀧 靖之 教授  
東北大学加齢医学研究所  
医師・医学博士



早めの予防行動で  
脳は変えられます

かいば  
脳の**海馬**は30代から  
年齢を重ねるごとに萎縮する

運動不足、睡眠不足、ストレス過多、食事バランスの偏り  
などによる生活習慣の影響を受けやすく、  
**海馬の萎縮スピードが早まる** ことがわかっています。



かいば  
記憶を司る**海馬**は  
いくつになっても育つ

運動・睡眠・食事などの生活習慣を改善  
することにより脳の中で唯一、**神経新生**が  
生じ、萎縮を抑え、**海馬を大きく**できる  
ことが確認されています。



ご紹介動画

かいば  
**海馬**を見れば  
脳の健康状態が分かる

海馬体積と認知機能、記憶力には相関関係が認められており、  
BrainSuiteでは、**海馬体積、同性・同年代と比較結果**を  
レポート<sup>\*1</sup>でご覧いただけます。  
オンライン健康相談<sup>\*2</sup>とオンラインテスト(問診・テスト)  
も受けることができます。



**01 測定する**

脳 MRIと AI で  
海馬を測定

**02 認識する**

同世代と比較し  
海馬の状態を認識

※検査レポート内容は裏面

**03 行動する**

生活習慣を見直し  
海馬に良いことを行う

**04 改善する**

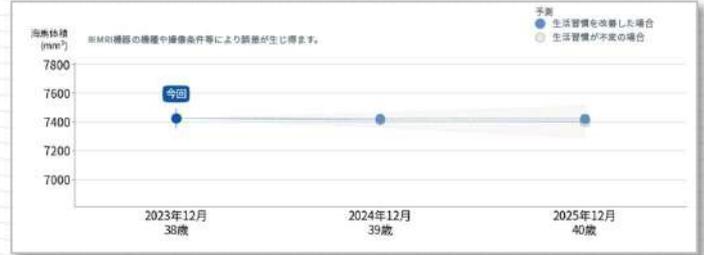
海馬の体積Up  
認知症予防へ

ご予約・お問い合わせはこちら



## 海馬体積と推移 自分自身の経過観察

海馬には認知機能が低下をする"前"から萎縮する特性があるため、健康なうちから海馬の大きさを知ること、予防行動につなげるきっかけを得ることができます。



## 海馬占有率と推移 同性同年齢との比較観察

脳全体に対し、海馬の占める割合を海馬占有率といいます。健康な同性・同世代の標準値・平均値と比べることにより、海馬の萎縮傾向を評価することができます。

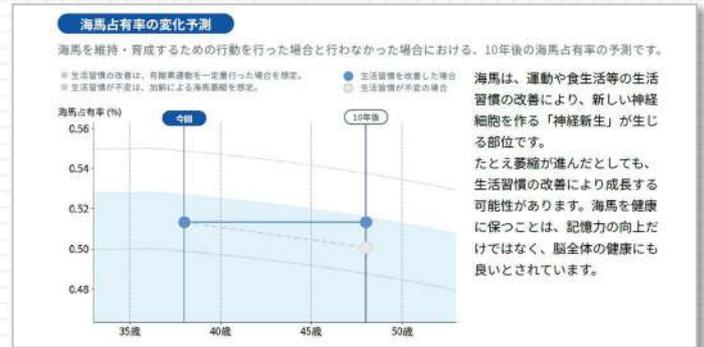


## 海馬占有率の 同性同世代比較

健康な同性・同年齢と比較し、どのあたりに位置するかをグラフ化します。

## 海馬占有率 10年後予測

生活習慣などを見直した場合・そうでない場合の10年後の海馬占有率を予測します。



マイブレイン

**MyBrain** があるから  
"生涯健康脳"を目指せます

MyBrain : 受診者専用ページ

### オンライン健康相談

※要予約

CogSmartの専属医師・看護師によるオンライン相談が受けられます。

### 結果をいつでもチェック

撮影したMRI画像や、結果レポートをいつでも確認できます。

### 脳健康に役立つ情報が充実

多数のコラムや動画から、生活習慣改善に役立つ情報を知ることができます。「認知症にならないために」知っておきたい情報を随時更新しています。

### オンラインテスト (問診・テスト)

生活習慣の脳に与える影響の評価や、現在の認知機能の状態を知ることができます。

### ビューワーでMRI画像を確認

ご自身の脳画像を様々な角度から確認できます。

